

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	アジア政治交渉論				
担当教員	教授 高田貫太				
授業概要	古墳時代の日朝関係がどのような形態、意図で行われたのかについて、各政治勢力（倭、百済、新羅、加耶、栄山江流域など）の複合的な視点から検討する。				
教育目標・目的	古墳時代の日朝関係史をめぐる考古学的研究の現状と課題について理解を深める。そのために、研究史の整理を通じて課題を浮き彫りにする。つぎに、古墳時代の日朝関係がどのような形態、意図で行われたのかについて倭や朝鮮半島の双方向的な視点から理解できる知識を身につける。				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講義における口頭試問 60% ・最終レポート 40% 				
授業計画	1. ガイダンス「日朝関係史とは何か」	9. 6世紀前半の関係史			
	2. 日朝関係史研究の現状と課題	10. 日朝交渉の主体について			
	3. 研究の枠組みと方法論	11. 倭の「軍事的活動」の実態について			
	4. 弥生時代後半の関係史	12. 新羅と倭			
	5. 3世紀後半～4世紀前半の関係史	13. 朝鮮半島の前方後円墳について (1)			
	6. 4世紀後半～5世紀初頭の関係史	14. 朝鮮半島の前方後円墳について (2)			
	7. 5世紀前半の関係史	15. 日朝関係史と現在			
	8. 5世紀後半の関係史				
実施場所	担当教員の研究室	使用言語	日本語、韓国語		
対象年次	後期	対象年次	3, 4, 5	単位数	2単位
教科書・参考図書	高田貫太 2014『古墳時代の日朝関係』吉川弘文館 適宜、プリントを配布				
備考					